様式第８号（第６条関係）

令和　２年　４月15日

松江市議会議長　森　脇　幸　好　様

松江市議会議員　　野　津　直　嗣

令和元年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和元年度政務活動費収支報告書

松江市議会議員　野津　直嗣

1 収　入

政務活動費　３００，０００　円

2 支　出

（単位：円）

科　　目	金　　額	備　　考
研究研修費	１１２，２３０　円	リバースプロジェクトにおける歴史資源の活用及びプランディングについて　他
調査旅費	１４４，７９０　円	中央省庁調査・研修 須賀川市市民交流センター他視察
資料購入費	円	
資料作成費	円	
合　　計	２５７，０２０　円	

3 残　額　　４２，９８０　円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

（様式１－１）

令和元年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号		
使途項目	研究研修費	
使途内容	5/30　研修「ﾘﾊﾞｰｽﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄにおける歴史資源の活用及びﾌﾟﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞについて」 5/31　研修「ﾘﾊﾞｰｽﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄにおけるSDGsの取組みについて」 「ﾘﾊﾞｰｽﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄにおける地域資源の活用及びﾌﾟﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞについて」	
調査年月日 （購入年月日）	令和元年　5月　30日（木）　～　令和元年　5月　31日（金）	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】　支出額	（うち政務活動費充当額）
	・会場使用料　5,060 円	5,060 円
	・講師招聘旅費・宿泊費　107,170 円	107,170 円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
合計額	112,230 円	112,230 円
備考		

議員名　【　野津　直嗣　】

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　　途	5/31研修 会場使用料

【貼付欄】別紙のとおり

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

様式第４号（第４条関係）

整理番号	第 48 号
使用許可日	1 年 5 月 31 日

松江市市民活動センター施設等使用許可書兼領収書

住　所　〒 松江市大井町

団体名

氏　名　野津 直嗣　様

松江市市民活動センター設置及び管理に関する条例第１０条の規定により、
松江市市民活動センターの使用について下記のとおり許可します。

松江市長　松　浦　正　敬

記

使用目的	会議				営利・非営利
使用施設	201 研修室				
使用日時（準備・片付け含む）	2019 年 5 月 31 日（金曜） 13 時 00 分 ～ 17 時 00 分				
	年 月 日（ 曜） 時 分 ～ 時 分				
	年 月 日（ 曜） 時 分 ～ 時 分				
	年 月 日（ 曜） 時 分 ～ 時 分				
使用設備器具等	設備名	プロジェクター	スクリーン	電源	
	使用数	1	1	1	
使用責任者	氏名 野津直嗣　住所〒 松江市大井町				
	電話（[redacted]）		共催者 有・無（ ）		
入場方法等	有料・無料	一般・関係者・その他（ ）	入場予定 10 人		

使用料（円）	施設	附属設備	冷暖房	合計	領収印
	2,640		790	3,430	[redacted]
		1020+510+100=1,630		1,630	R1.5.31 領収済
	総計			5,060	

備考

窓口払い　冷房希望

この用紙を使用当日に必ずご提示ください

※裏面の「使用上のご注意」をお読みください。

3－048

（様式 2）

旅 費 計 算 書

講師 東沢 由紀氏分

議員名　野津 直嗣

用務先	松江市市民活動センター（松江市白潟本町43）
用務内容	研修講師 東沢 由紀氏、宇塚 たけし氏 招聘旅費 5/31　00:00～00:00 「リバースプロジェクトにおけるSDGsの取組みについて」

出張期間（出発及び帰市）	令和 元 年 5月 30 日(木)　～　令和 元 年 5月 31 日(金)	（ 1 泊 2 日）

旅 費 請 求 明 細

年月日	曜日	出発地 / 到着地	用務地 / 宿泊地	鉄道（航空・船・車）賃 路程	運賃等	特別料金	日当・日額旅費 日数	定額	宿泊料・食卓料 日数	定額	旅行雑費
				km			日	円	日	円	
R1.5.30	木	東京都 松江市	松江市	航空機 （宿泊費含む）	49,100						
R1.5.31	金	松江市 東京都	松江市	航空機	上記に含む						
小　計					49,100	0	0.0	0	0	0	

合　計	49,100 円

備考
1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

相手方との交渉により、食事代や市内移動費等の実費は計上しない（支払額は請求書記載の金額のみとする）

※　路程欄

5/30　羽田空港 → 出雲空港 → 松江駅 → 宿泊先
10:15　JAL279　11:40　議員自家用車　徒歩

5/31　宿泊先 → 市民活動センター(用務先) → 松江駅 → 出雲空港 → 羽田空港
徒歩　徒歩　議員自家用車　19:25　JAL286　20:45

（様式 2）

旅 費 計 算 書

講師 宇塚 たけし氏分

議員名　野津 直嗣

用務先	松江市市民活動センター（松江市白潟本町43）
用務内容	研修講師 東沢 由紀氏、宇塚 たけし氏 招聘旅費 5/31　00:00～00:00 「リバースプロジェクトにおけるSDGsの取組みについて」
出張期間（出発及び帰市）	令和 元 年 5月 30 日(木)　～　令和 元 年 5月 31 日(金)　（ 1 泊 2 日）

旅 費 請 求 明 細

年月日	曜日	出発地 / 到着地	用務地 / 宿泊地	鉄道（航空・船・車）賃 路程	鉄道（航空・船・車）賃 運賃等	鉄道（航空・船・車）賃 特別料金	日当・日額旅費 日数	日当・日額旅費 定額	宿泊料・食卓料 日数	宿泊料・食卓料 定額	旅行雑費
				km			日	円	日	円	
R1.5.30	木	東京都 松江市	松江市	航空機	24,990				1	8,090	
R1.5.31	金	松江市 東京都	松江市	航空機	24,990						
小　計					49,980	0	0.0	0	1	8,090	

合　計	58,070 円

備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

相手方との交渉により、食事代や市内移動費等の実費は計上しない（支払額は請求書記載の金額のみとする）。

※　路程欄

5/30　羽田空港 → 出雲空港 → 松江駅 → 宿泊先
10:15　JAL279　11:40　議員自家用車　徒歩

5/31　宿泊先 → 市民活動センター(用務先) → 松江駅 → 出雲空港 → 羽田空港
徒歩　徒歩　議員自家用車　16:20　JAL284　17:45

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　　途	5/31研修 講師招聘旅費・宿泊費

【貼付欄】別紙のとおり

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

1.5.30

領　収　書

松江市議会議員　野津直嗣　　様

講師旅費・宿泊費として　　￥　107,170　（2名分）

受領者（社）名　東沢 由紀 [redacted]

住　所 [redacted]

電話番号 [redacted]

【旅費・宿泊費内訳（松江⇔東京）】

令和元年5月30日（木）

羽田空港（10時20分発→出雲空港（11時40分着）

宿泊　　ドーミーインエクスプレス松江（2名）

令和元年5月31日（金）

出雲空港（16時20分発）→羽田空港（17時40分着）宇塚氏

出雲空港（19時25分発）→羽田空港（20時45分着）東沢氏

宇塚　（JALサイト支払い49980円、ドーミーインサイト支払い8090円）

東沢（楽天トラベルパック支払い49100円）

請　求　書

野津　直嗣様

金１０７，１７０円也

研修に係る交通費及び宿泊代として上記金額を請求します。

なお、内訳に関しては以下のとおりです。

内訳

宇塚分

JAL パック代 49,980 円、宿泊費 8,090 円

＊5 月 30 日　羽田空港発 10:20 発　出雲空港 11:40 着

5 月 31 日　出雲空港発 16:20 発　羽田空港 17:40 着

東沢分

楽天トラベルパック 49,100 円（宿泊費込み）

＊5 月 30 日　羽田空港発 10:20 発　出雲空港 11:40 着

5 月 31 日　出雲空港発 19:25 発　羽田空港 20:45 着

令和元年 5 月 16 日

[redacted]

東沢　由紀 [redacted]

研究研修、調査　報告書

議員名　　野津直嗣

1、期　　間　　令和元年５月３０日（木）～令和元年５月３１日（金）

2、会　場　等　　①現地研修　　美保関町・八束町（令和元年５月３０日（木））
②座学研修　　市民活動センター201研修室（令和元年５月３１日（金））
③現地研修　　宍道湖畔（令和元年５月31日（金））

3、調査項目等　　①リバースＰにおける歴史資源の活用及びブランディングについて
②リバースＰにおけるSDGｓ（エスディージーズ）の取組みについて
③リバースＰにおける地域資源の活用及びブランディングについて

4、講師（対応者）　①東沢由紀氏
（一般社団法人リバースプロジェクトＰＪマネージャー）
②宇塚たけし氏
（一般社団法人リバースプロジェクトPRBARディレクター）

5、調査内容・所感等

【今回の研修における基本的な考え方】

従来、視察研修においては東京などでの省庁とのレクチャーなどにより、松江市にとって有益な事業や情報などを研修し、市民の為に議会で活用する事が求められる。が、実際には研修講師側が当地松江市の機微な状況や状態を知る事のない状態で研修を受ける事から、具体的かつ実践的な事例のアドバイジングを得る事が難しかった。

そこで今回の研修では、現地松江市での地域資源などを実際に見てもらって、具体的かつ実地研修に繋げようと東京で地域活性化、近年の国や地方自治体でも注目されている持続可能な社会いわゆるＳＤＧＳ（エスディージーズ）、地域資源や人材を活用した商品開発やプロジェクト開発でも著名な、一般社団法人リバースプロジェクトのプロジェクトマネージャーを松江市に招致し、研修を行った。

現地松江市での地域資源などを実際に見てもらっての具体的かつ実地研修、そして座学研修では大変有意義なお話を聞け、これを今後の議会提案に役立てていきたいと考えている。

以下が詳細である。

所感①について

【リバースＰにおける歴史資源の活用及びブランディングについて】

現地踏査研修として、松江市美保関の美保神社周辺、八束町の中村元記念館で現地研修を行った。美保神社周辺は歴史的な地域資源に恵まれており、一般社団法人リバースプロジェクトは富山県南砺市では歴史的資源である合掌造りの建物群の一角を変容させてコミュニティスペースを作っており、地域活性化を図っているとの事であった。

またリバースプロジェクト代表の伊勢谷友介氏は、サッポロビールのクリエイティブディレクターであり、美保神社の御祭神である事代主（コトシロヌシ）=恵比須様と、サッポロビールが販売するエビスビールとのご縁もある事から、サッポロビールのＣＭでの利活用、また地域全体を通して、美保関の活性化や認知度を上げていく取組みができるのではないか？との話もあった。

また八束町の文化的資源である中村元記念館にも訪れ、松江が抱える文化度についての現地研修を行った。一般社団法人リバースプロジェクトは教育にも力を入れており、ふるさと教育に中村元博士の取組みを分かりやすく伝えていく為に、リバースプロジェクトではカードゲームなど、子どもたちのふるさと教育にも使えるとの事であった。

所感②について

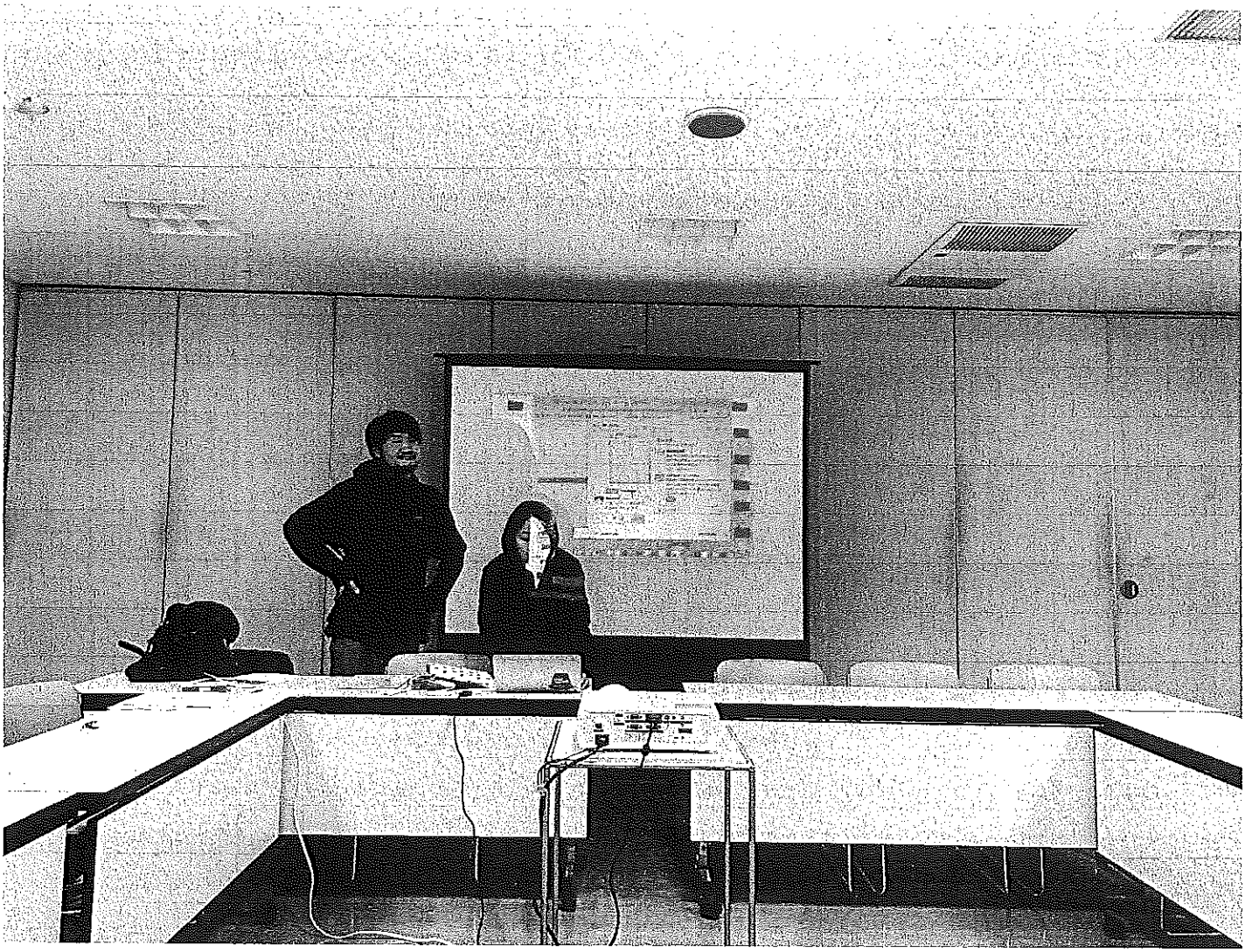
【リバースＰにおけるSDGｓ（エスディージーズ）の取組みについて】

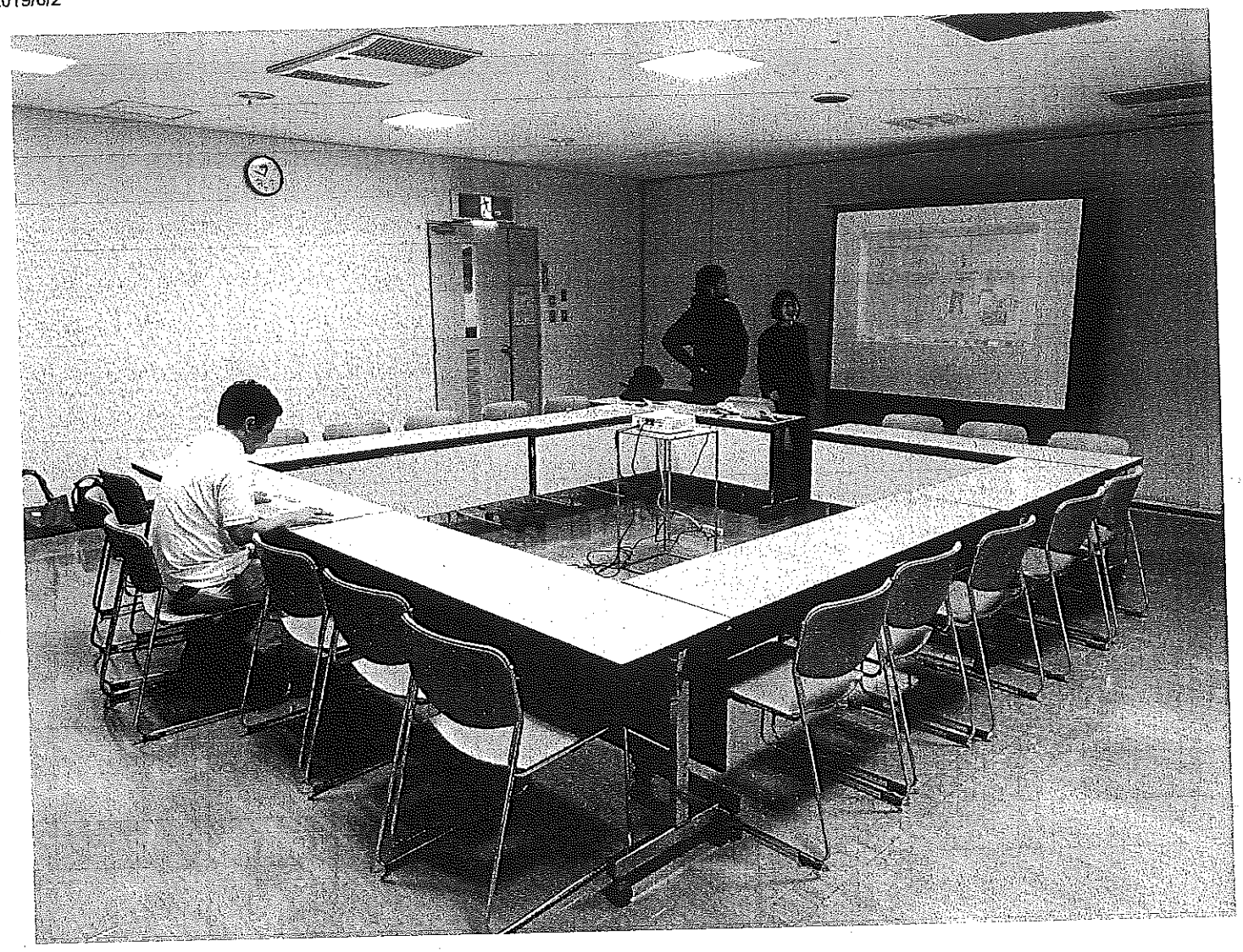
近年、国ではSDGSの取組みが盛んに叫ばれているが、リバースプロジェクトでは10年以上前から持続可能な社会に向けての取り組みを先進的にしており、国もリバースプロジェクトの取組みを注視している所である。座学研修では、リバースプロジェクトの理念や考え方、これまでの事業などが紹介された。その分野は教育～定住～福祉～まちづくり～防災～食～自治体連携など多岐に渡り、あらゆる角度からプロジェクトマネージャーが実質的に動かしていくというものであった。意見交換や質疑では、関係人口を基軸とする松江市との連携の可能性やリバースプロジェクトができるであろう事が話し合われた。主な例としては、大学×リバースプロジェクト×松江市という地域の魅力化のプラットフォームづくりなどもできるのではないか？と考えた。今後、執行部と協議していきたい。

所感③について

【リバースＰにおける地域資源の活用及びブランディングについて】

松江市の観光資源である宍道湖畔では今年度事業予定の宍道湖サンセットカフェなどの魅力化などを中心に夕日のブランド化、観光地における商品開発などの話が行われた。コーヒーなどだけでなく、抹茶などを活用した抹茶スタンドや、アルコール販売も含めた販売も効果的ではないかとご教授あった。また出雲そばの蕎麦湯を使ったアルコールなどもご示唆あり今後執行部へと提案していきたいと考えている。





（様式１－１）

令和元年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号		
使途項目	調査旅費	
使途内容	中央省庁調査・研修 「新幹線に関する様々な諸課題について」 「地方創生推進交付金・拠点整備交付金について」 「国土強靭化の7兆円の概要について」 「TPPなどに対する農林水産業などの振興策について」	
調査年月日 （購入年月日）	令和　元年　５月１３日（月）　～　令和　元年　５月１４日（火）	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】　支出額	（うち政務活動費充当額）
	・旅費　40,900 円	40,900 円
	・みやげ代　3,780 円	3,780 円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
合計額	44,680 円	44,680 円
備考		

議員名　　【　野津　直嗣　】

（様式 2）

旅 費 計 算 書

議員名　　野津 直嗣

用務先	衆議院議員第二会館
用務内容	5月13日（月） 13:30～16:30 新幹線に関する様々な諸課題について（国土交通省） 地方創生推進交付金・拠点整備交付金について（内閣府） 5月14日（火） 10:00～12:00 国土強靭化の7兆円の概要について（国土交通省） TPPなどに対する農林水産業などの振興策について（農林水産省）
出張期間（出発及び帰市）	令和 元 年 5 月 13 日(月) ～ 令和 元 年 5 月 14 日(火) （ 1 泊 2 日）

旅 費 請 求 明 細

年月日	曜日	出発地 / 到着地	用務地 / 宿泊地	鉄道（航空・船・車）賃 路程	運賃等	特別料金	日当・日額旅費 日数	定額	宿泊料・食卓料 日数	定額	旅行雑費
				km			日	円	日	円	
R1.5.13	月	松江市 / 東京	東京 / 東京	航空機	26,200						
				モノレール	490		1	1,100	1	10,900	
				JR	140						
				私鉄	170						
R1.5.14	火	東京 / 松江市	東京 /	私鉄	170		1	1,100			
				JR	140						
				モノレール	490						
				航空機	往路に含む						
小 計					27,800		2.0	2,200	1	10,900	

航空賃： パック旅行利用（1泊朝食付き）
旅行代金 ＝パック旅行代金35,600円＋(食事代1,500円) ＝37,100円
往復航空賃＝旅行代金37,100円－宿泊料10,900円 ＝26,200円（限度内）
（限度額 58,380円）

合 計	40,900 円

備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

パック旅行利用1泊朝食付き

※ 路程欄

別紙のとおり

ジョルダン

出雲空港 → 国会議事堂前

2019/05/13(月) 12:30 到着

09:55発 → (12:17)着　総額 29,890円 (切符利用)
所要時間 2時間22分　乗車時間 1時間43分　乗換 3回　距離 671.8km

	経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ 出雲空港				
09:55-11:15 80分	飛 JAL278便		29,090円	特割1A	652.0km
乗換20分 ホーム5分	○ 羽田空港/羽田空港第1ビル	1番線発			
11:40-11:57 17分	私 東京モノレール空港快速(浜松町行)	3号車	490円		17.0km
乗換3分 ホーム0分	○ 浜松町	2番線発			
12:00-12:02 2分	JR 山手線東京方面行	8号車	140円		1.2km
乗換4分 ホーム1分	○ 新橋	5番線着 1番線発			
12:07-12:11 4分	地 東京メトロ銀座線(渋谷行)	1・2・6号車	170円		1.6km
	○ 溜池山王	1番線着			
(12:11)-(12:17) 6分	歩 徒歩				
	○ 国会議事堂前				

記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

( ) … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

Copyright © 1996-2019 Jorudan Co.,Ltd. All Rights Reserved

ジョルダン

国会議事堂前 → 出雲空港

2019/05/14(火) 19:00 到着

(16:08)発 → 18:40着　総額 29,890円 (切符利用)
所要時間 2時間32分　乗車時間 1時間46分　乗換 3回　距離 671.8km

	経路		乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ 国会議事堂前					
(16:08)–(16:14) 6分	徒歩	徒歩				
	○ 溜池山王		2番線発			
16:14–16:17 3分	地	東京メトロ銀座線(浅草行)	2・4号車	170円		1.6km
乗換4分 ホーム2分	○ 新橋		2番線着 4番線発			
16:23–16:25 2分	JR	山手線品川方面行	7・10号車	140円		1.2km
乗換3分 ホーム0分	○ 浜松町		3番線着			
16:28–16:44 16分	私	東京モノレール空港快速(羽田空港第2ビル行)		490円		17.0km
乗換30分 待ち1分	○ 羽田空港第1ビル/羽田空港		2番線着			
17:15–18:40 85分	飛	JAL285便		29,090円	特割1A	652.0km
	○ 出雲空港					

記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

( ) … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

Copyright © 1996–2019 Jorudan Co.,Ltd. All Rights Reserved

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	

【貼付欄】

令和元年度5月13日（月）～５月14日（火）　東京研修旅費　　領収書

森脇勇人議員、吉金隆議員、野津直嗣議員、柳原治議員、河内大輔議員　　合計5名

1名料金　35,600円（出雲空港⇔羽田空港　往復航空券・宿泊1泊）×５名分　領収書

7BV

インターネット受付　領収書（お客様控）

領収日　2019年 4月 23日　時間 19時 47分

収納店舗　22296-0

松江ガーデンコート

申込No. [redacted]

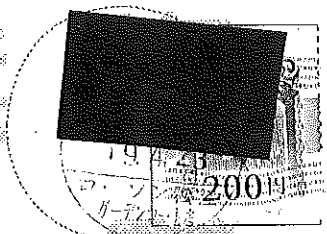
受付番号: 509510

お客様氏名: のつ　なおつぐ　様

[redacted]

お申込商品代金　178,000円

合計金額　178,000円



発行者

お問い合わせ先: 楽天株式会社

電話番号: 050-3155-3395

お問い合わせ受付時間: 09:00-18:00

メールアドレス: jalrakupack@faq.rakuten.co.jp

ホームページ: http://travel.rakuten.co.jp/

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【野津直嗣】

Rakuten Travel

ご予約内容確認(決済手続き／キャンセル／座席指定／旅程表印刷)

旅行参加者に予約内容をメールで送信

ご予約内容

予約番号		[redacted]
確認番号	旅行参加者1	99F[redacted]
	旅行参加者2	071[redacted]
	旅行参加者3	1Z5[redacted]
	旅行参加者4	28J[redacted]
	旅行参加者5	71J[redacted]
JAL航空券予約番号		TFW23X

※確認番号は参加者1名につき2つ(行き/帰り)発行されます。空港での航空券の発券をする際に使用します。ご注意ください。

JALタッチ&ゴーサービスについて

旅行参加者情報

旅行参加者1： 代表者

氏名	のつ なおつぐ	JALマイレージバンク お得意様番号	
性別	男性	年齢	[redacted]
住所	郵便番号：[redacted] 都道府県：島根県 住所：[redacted]		
電話番号	[redacted]		
緊急連絡先	[redacted]		

旅行参加者2： 大人

氏名	もりわき はやと	JALマイレージバンク お得意様番号	
性別	男性	年齢	[redacted]

旅行参加者3： 大人

氏名	よしかね たかし	JALマイレージバンク お得意様番号	

性別	男性	年齢	[redacted]

旅行参加者4： 大人

氏名	やなぎはら おさむ	JALマイレージバンク お得意様番号	
性別	男性	年齢	[redacted]

旅行参加者5： 大人

氏名	かわうち だいすけ	JALマイレージバンク お得意様番号	
性別	男性	年齢	[redacted]

旅程表

旅行日程	2日間 旅行開始日：2019年5月13日（月） ～ 旅行終了日：2019年5月14日（火）	
2019年5月13日（月）	出雲 空港発 09:55 発 ⇒ 東京（羽田） 空港着 11:15 着 ＊＊＊（空港⇔宿泊施設間の移動については本商品に含まれておりません。お客様ご自身の負担にてご手配いただくようお願いいたします。）＊＊＊ ※空港からホテルまでのアクセス所要時間は、お客様ご自身でご確認ください ホテルルルポール麹町（地方職員共済組合麹町会館）泊	・夕食 大人×
2019年5月14日（火）	＊＊＊（空港⇔宿泊施設間の移動については本商品に含まれておりません。お客様ご自身の負担にてご手配いただくようお願いいたします。）＊＊＊ ※ホテルから空港までのアクセス所要時間は、お客様ご自身でご確認ください 東京（羽田） 空港発 17:15 発 ⇒ 出雲 空港着 18:40 着	・朝食（その他） 大人○ ・昼食 大人×

幼児（布団のみ）、幼児（食事・布団不要）、幼児（0～2歳）には、食事は付きません

航空便

航空便情報

行き	JAL **278便** 5人（大人：5人）**普通席** 2019年5月13日（月） 出雲空港発 09:55発 ⇒ 東京（羽田）空港着 11:15着
帰り	JAL **285便** 5人（大人：5人）**普通席** 2019年5月14日（火） 東京（羽田）空港発 17:15発 ⇒ 出雲空港着 18:40着

■上記「JAL」はJALグループ内運航会社・乗務員での運航となります（コードシェア便を除く）。詳細は最新のJALグループ国内線時刻表でご確認ください。

■ご予約いただく便について、JALとのコードシェア便（共同運航便）の場合があります。
コードシェア便の場合は、旅程表内の便名の後に運航会社が記載されておりますので、ご確認ください。
※詳しくは ※コードシェア便について をご確認ください。

■日本トランスオーシャン航空（JTA）の沖縄諸島発の便は、一部経由となる便がございます。 詳しくはこちらをご参照ください。

■座席指定の詳細については、こちらをご確認ください。

空港での搭乗手続きについて　航空便の案内について

宿泊

2019年5月13日（月）

宿泊施設名	ホテルルポール麹町（地方職員共済組合麹町会館）
住所	〒102-0093　東京都千代田区平河町2-4-3 永田町・麹町駅から徒歩3分と、ビジネス、観光の拠点に最適。
電話番号	03-3265-5361
宿泊プラン	【朝食付】バイキング朝食付き予約だからお得♪展望大浴場無料♪東京中心交通至便
部屋タイプ	洋室・ツイン・バス・トイレ付 ツインD【禁煙】サウナ付展望浴場、インターネット無料 (ツインD禁煙25.2平米のゆったりスペース、全室バス・ウォシュレットトイレ、ソファーセット付、インターネット無料、１５階展望浴場無料)
チェックイン	2019年5月13日（月） 16:00
チェックアウト	2019年5月14日（火） 11:00
申込人数	5人 （大人：5人）
申込部屋数	5部屋 1部屋目　のつ なおつぐ　男性：1名 女性：0名 合計：1名 2部屋目　もりわき はやと　男性：1名 女性：0名 合計：1名 3部屋目　よしかね たかし　男性：1名 女性：0名 合計：1名 4部屋目　やなぎはら おさむ　男性：1名 女性：0名 合計：1名 5部屋目　かわうち だいすけ　男性：1名 女性：0名 合計：1名
お食事	朝食：1回 昼食：0回 夕食：0回

宿泊について

旅行代金

旅行代金詳細 料金はサービス料・消費税込	大人： 35,600円 × 5人	
旅行代金合計		**178,000円**
支払金額	**178,000円-0円（クーポン利用）-0ポイント＝**	**178,000 円**

予約日（旅行代金算出基準日）	2019年4月20日（土） 9時56分35秒
出発日	2019年5月13日(月)
旅行日程	2日間
利用交通機関	往復航空機利用（普通席またはクラスJ）
添乗員	同行いたしません
契約形態	募集型企画旅行
最少催行人数	1人
旅行代金に含まれるもの	・往復の航空運賃〔個人包括旅行割引運賃（ご搭乗日7日前までのご予約便適用）個人包括旅行特定便割引運賃（ご搭乗日6日前から前日までのご予約便適用）〕 ・料金（国内線旅客施設使用料（対象空港利用の場合のみ）） （ご購入日がご搭乗日の前日から起算して7日前までとそれ以降で使用する運賃が異なります。） ・上記旅程表に明記した宿泊費・食事代 ・消費税等諸税
幼児（3～5歳）旅行代金に含まれるもの	・往復の航空運賃・料金（国内線旅客施設使用料（対象空港利用の場合のみ）） ・食事付の場合の食事代（上記旅程表に明記した食事回数） ・布団付の場合の寝具代 ・消費税等諸税

注意事項

ご予約内容の変更について
当募集型企画旅行は、パッケージ商品のため、ご予約完了後の旅行者の変更や日程・宿泊施設・フライトの変更など、全ての変更を一切お受けできません。

その他注意事項

《スキー、スノーボードプランでお申し込みのお客さまへ》

空港、ご宿泊ホテル、スキー場間の移動手段は、お客さまにてお手配、ご負担となります。
ゲレンデ情報（営業時間、積雪・降雪状況等）は、お客さまご自身でご確認ください。
悪天候のためリフト・ゴンドラ等が運休する場合もございますので予めご了承ください。
航空会社にスキー板・スノーボード等をお預けになる場合、運送約款に従い、超過料金がかかる場合や小型機で運行されている場合は貨物室のスペースの関係上お預かりできない場合もございます。　詳しくは航空会社にご確認ください。

--- リフト、ゴンドラ券付きのプランでお申し込みのお客さまへ ---

リフト、ゴンドラ券の詳細につきましては、ご予約の宿泊施設まで直接お問い合わせください。

キャンセルポリシー

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	調査旅費　みやげ代

【貼付欄】

領　収　書

No. 01605

野津直嗣　殿

					¥	3	1	8	0

現　金	9
小切手	
手　形	

印紙

但し
上記金額正に受領致しました
2019年　5月　12日

のれんと味に生きる
中浦食品株式会社 [redacted]

本社･松江支社　〒699-0109 島根県松江市東出雲町錦浜583番41号　電話 0852-53-0[redacted]
出雲営業所　〒693-0068 島根県出雲市姫原四丁目5-8　電話 0853-24-2066
境港工場　〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地208-2　電話 0859-45-7500

（ご注意　社印係印無きもの及び金額の訂正は無効です）

係員 [redacted]

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

研究研修、調査　報告書

議員名　　野津直嗣

1、期　　間　　令和元年５月１３日（月）～令和元年５月１４日（火）

2、会　場　等　　①衆議院議員第二会館（令和元年５月１３日（月））
②衆議院議員第二会館（令和元年５月１４日（火））

3、調査項目等　　①新幹線の整備促進について（令和元年５月１３日（月））
②地方創生推進・拠点交付金について（令和元年５月１３日（月））
③国土強靭化及び３ヶ年緊急対策について（令和元年５月１４日（火））
④TPPなどに対する農林水産業の振興策（令和元年５月１４日（火））

4、講師（対応者）　①河野真典氏（国土交通省　鉄道局　幹線鉄道課　課長補佐）
②加島優氏（内閣府地方創生推進事務局　参事官補佐）
③松浦直氏（内閣府国土強靭化推進室　企画官）
青木秀幸氏（内閣府国土強靭化推進室　参事官補佐）
④神谷幸男氏（農林水産省　大臣官房政策課　企画官）
日笠鉱氏（農林水産省　政策統括官　農産企画課　課長補佐）
山崎祐介氏（農林水産省　政策統括官　穀物課　係長）
山本隆司氏（農林水産省　生産局　園芸作物課　野菜調整官）

5、調査内容・所感等

所感①について

【整備新幹線について】

松江市としても新幹線の整備について、昨年より議連を立ち上げたところである。その中で今回は国における新幹線への整備に対する過去からの流れ、また今後の展望、考え方を伺った。

説明の中で感じた事は、やはりそもそもの鉄道（新幹線）に関する予算措置自体が非常に乏しいという点である。高速道路網と同じく、大量のヒトモノを物流できる鉄道の高速化は、まさしく日本国内のあらゆる地方へ「血液」を流すべき大切な「血管」であり、「整備が必要の是非を問う」でもなく、過去からの日本の社会構造を鑑みれば「すでに整備は終わってなければならなかった」事案である事が非常によくわかり、国土の均衡ある発展、太平洋軸に傾注しすぎている富とインフラの大災害からのリスク分散という意味では、国家百年の大計であり、対応予算を早期に増額すべきだと考える。こういった視点から、質疑では全線開通すると整備費はどれくらい

必要か？の質疑を行った所、答弁では、正確な数字は計測してはいないが、現在の路線整備単価を参考にすると30兆円前後かかるのではないか？と答弁があった。松江市においてもしっかりと今後の活動で整備新幹線の格上げに向けて運動を展開していきたい。

所感②について

【地方創生推進・拠点交付金について】

平成31年度松江市　2月議会では補正予算計上された中海スポーツパーク公園の整備案についても提出されたが、国の未採択により本予算を専決処分で予算から削除する事となった。これを踏まえて、地方創生推進、拠点整備の両交付金の概要について内閣府からレクチャーを受けたものである。結論的に、準備時間を長くする事により相当の市の財源温存ができる事、今後の松江市が抱える公共施設の改修にむけて課題解決となる事が理解できた。また質疑では、

① 職員数が限られている中で新規事業に着手し、事業企画や管理、運営をしていく人員体制にはなっていなく、新規事業そもそもが生み出せる事が地方自治体はできにくい。また2分の1を負担する財源も厳しい。という質疑に、

→ 既存の事業をリミックスして出す事により、今まで市の単独財源でやっていたものを3年計画、5ヶ年計画でも2分の1の国が直接交付金で支援し、残り50%は普通交付税と特別交付税で市の方へも補填する仕組みになっている。実際に提案される事業はほとんどの事業でリミックスが多いのではないか？ただ注意点として、「財源振替にしか見えない」のではなかなか審査を通るのが難しいので、そこは色々な相談に乗れるので、本当に気兼ねなく相談してもらいたい。という答弁があった。

今後、しっかりと執行部と話をしながら着実かつ確実に国の有利な制度を使えるよう進めていきたい。

所感③について

【国土強靭化及び3ヶ年緊急対策について】

国においては内閣府において国土強靭化推進室を設置し、他省庁に渡る政策について掌握している。国からのレクチャーでのポイントは、あくまでも「防災・減災・安心・安全」という横軸に大きく予算がついていること、またその予算は各省庁にバラバラについているが、いずれにせよ、「地域防災計画」に準じているという事が、事業進捗のプライオリティになる事が分かった。例えば、松江市ではエアコンを小中学校の普通教室への全室配置を決めたが、体育館などのエアコン等の設置はまだ決まっていないが、こういった「避難施設」としての体育館の活用によるエアコン設置、また農林水産省における圃場整備事業なども同じ考えで、松江市が計画策定中の地域防災計画に載せていく事で採択においては優先順位が上がる事が可能と考える。

市の担当部署にも伝え、あらゆるメニューを地域防災計画へ反映させるように執行部へ情報共有していく。

所感④について

【TPP などに対する農林水産業の振興策について】

国の TPP だけでなく、農林水産業全般における対策を聞いた所である。農林水産省にも様々な支援メニューがある事がわかり、コメや野菜のみの振興策だけでなく鳥獣被害対策から中山間地域の活性化事業まであり、多面的に中山間地域の振興を図る可能性を探る事も大事であると感じた。コメについては圃場整備事業のスピード化、野菜については流通の課題、畜産等に関していえば鳥獣被害等に関する近年のジビエ等の処理等に関しての施設整備、その全ての面での担い手育成も課題である事から、

松江市においても、2 つの大きな視点で解決を目指していく事が必要と考える。まず一点目は、兼業農家、そして中山間地の農業に対する支援については、そもそものコメや野菜の単価を上げていく事業などを総合的に行うこと、またもうひとつの視点は、新しく農業をやっていくプレイヤーや若き農業者たちに対する特化型の支援であり、一点突破全面展開の精神を基軸とした支援である。農林水産業と一括りに支援するのではなく、松江市も大きな軸を決めて進んでいく事が大事だと考える。

（様式１－１）

令和元年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号		
使途項目	調査旅費	
使途内容	7/10　須賀川市市民交流センター、紫波中央駅、紫波町役場視察 7/11　オガール紫波、VISIT八戸他視察 7/12　陸奥湊駅前朝市、安藤昌益資料館視察	
調査年月日 （購入年月日）	令和　元年　７月１０日（水）　～　令和　元年　７月１２日（金）	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】　支出額	（うち政務活動費充当額）
	・旅費　99,110 円	99,110 円
	・視察資料代　1,000 円	1,000 円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
合計額	100,110 円	100,110 円
備考		

議員名　【　野津　直嗣　】

（様式 2）

旅 費 計 算 書

議員名　　野津 直嗣

用務先	福島県須賀川市 岩手県紫波町 青森県八戸市
用務内容	7/10 13:20～15:00 須賀川市民交流センター視察 18:00～20:00 紫波中央駅、紫波町役場視察 7/11 10:05～11:30 オガール紫波視察 13:30～17:30 VISIT八戸他視察 7/12 8:00～11:30 陸奥湊駅前朝市、安藤昌益資料館視察
出張期間（出発及び帰市）	令和元 年 7月 10 日(水) ～ 令和元年 7月 12 日(金) (2 泊 3 日)

旅 費 請 求 明 細

年月日	曜日	出発地 / 到着地	用務地 / 宿泊地	鉄道(航空・船・車)賃 路程	運賃等	特別料金	日当・日額旅費 日数	定額	宿泊料・食卓料 日数	定額	旅行雑費
				km			日	円	日	円	
R1.7.10	水	松江市	須賀川市	航空機	58,000						
			紫波町	モノレール	490						
				京急	100						
				JR・新幹線	4,000	4,200					
				JR	200		1	1,100	1	10,900	
				JR	200						
				JR・新幹線	0	0					
				JR	500						
		盛岡市	盛岡市	JR	300						
R1.7.11	木	盛岡市	紫波町	JR	300						
			八戸市	JR	300						
				JR・新幹線	4,020	左記に含む	1	1,100	1	10,900	
		八戸市	八戸市								
R1.7.12	金	八戸市	八戸市	連絡バス	1,400						
				航空機	往路に含む		1	1,100			
				航空機	往路に含む						
		松江市									
		航空賃：パック旅行利用(7/10朝食付き、7/11素泊まり) 旅行代金 ＝パック旅行代金76,100円＋食事代(1,500円+2,200円)＝79,800円 往復航空賃＝旅行代金79,800円－宿泊料(10,900円×2日) ＝58,000円(限度内) (限度額 60,880円)										
小 計					69,810	4,200	3.0	3,300	2	21,800	

合 計	99,110 円

備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

パック旅行利用 7/10朝食付き、7/11素泊まり

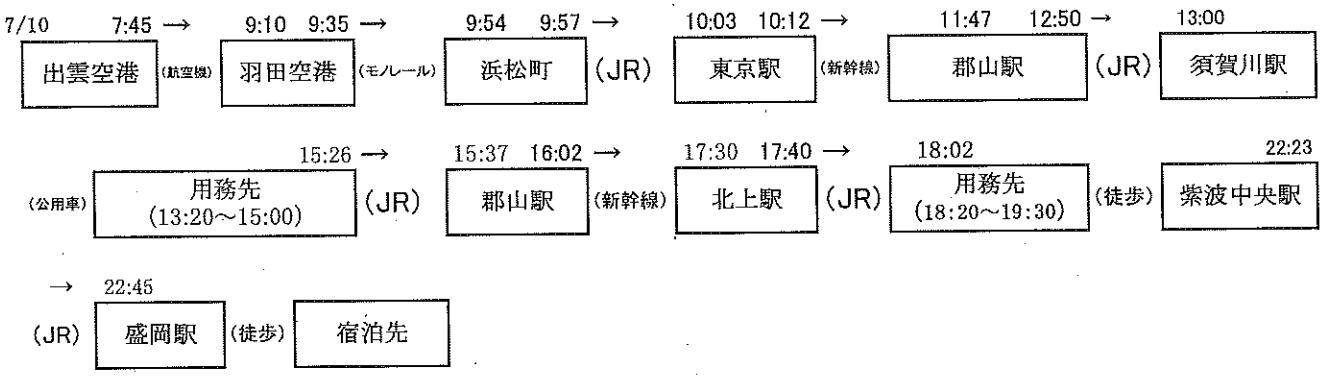
7/10の航空機について2便を予約し、支払い後に2便では用務に間に合わないことが判明した。航空会社へ変更可否の問い合わせをしたところ当日席が空いていれば可能のと回答を得て、当日空港へ向かったところ空席があったので1便に乗ることができ、用務先へ向かったもの。

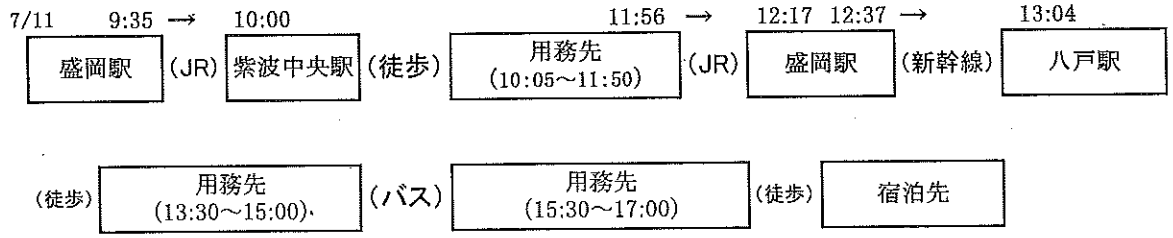
郡山駅から北上駅の新幹線代については計上しないものとする。盛岡駅から八戸駅までの間は前後の用務時間の都合上新幹線を利用した。

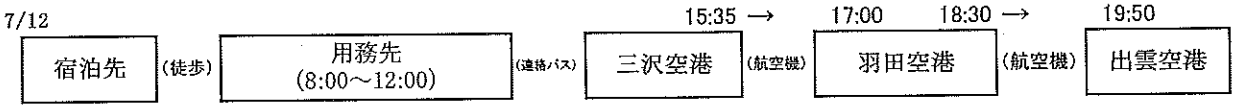
7/10の宿泊先について、紫波町での宿泊を検討したが、満室であった。他の候補地を検索したところ駅から離れたところしかなく、翌日の用務を考慮した結果、駅から近い場所を選択したもの。

※ 路程欄

別紙行程表のとおり


7/10
7:45 →
出雲空港
(航空機)
9:10 9:35 →
羽田空港
(モノレール)
9:54 9:57 →
浜松町
(JR)
10:03 10:12 →
東京駅
(新幹線)
11:47 12:50 →
郡山駅
(JR)
13:00
須賀川駅
(公用車)
15:26 →
用務先
(13:20～15:00)
(JR)
15:37 16:02 →
郡山駅
(新幹線)
17:30 17:40 →
北上駅
(JR)
18:02
用務先
(18:20～19:30)
(徒歩)
22:23
紫波中央駅
→
(JR)
22:45
盛岡駅
(徒歩)
宿泊先


7/11
9:35 →
盛岡駅
(JR)
10:00
紫波中央駅
(徒歩)
11:56 →
用務先
(10:05～11:50)
(JR)
12:17 12:37 →
盛岡駅
(新幹線)
13:04
八戸駅
(徒歩)
用務先
(13:30～15:00)
(バス)
用務先
(15:30～17:00)
(徒歩)
宿泊先


7/12
宿泊先
(徒歩)
用務先
(8:00～12:00)
(連絡バス)
15:35 →
三沢空港
(航空機)
17:00 18:30 →
羽田空港
(航空機)
19:50
出雲空港

松江市議会議員　野津直嗣

最新版

福島県及び岩手県視察行程表

7月10日

【視察参加者】
松江市議会議員　　野津直嗣

午前7時50分　出雲空港　→　羽田空港発
午前9時10分　羽田空港着
午前10時00分　羽田空港第一ターミナル→東京駅
午前10時36分　東京駅→郡山駅　盛岡行き　やまびこ47号
午後11時59分　郡山駅着　昼食
午後12時50分　ＪＲ東北本線　新白河駅各駅停車
午後13時00分　須賀川駅着
午後13時20分　須賀川市民交流センター
午後15時26分　須賀川駅　→　普通（福島県）行
午後15時37分　郡山駅着
午後16時02分　郡山駅→新幹線→北上駅
午後17時30分　北上駅着
午後17時40分　北上駅→ＪＲ東北本線・盛岡行き各停→紫波中央駅
午後18時02分　紫波中央駅　現地視察及び紫波町地域おこし協力隊との意見交換
午後19時30分　紫波町役場及び地域おこし協力隊と意見交換交流会
午後23時00分　紫波中央駅→盛岡駅
宿泊　盛岡シティホテル（盛岡市）

7月11日

午前9時35分　盛岡駅→JR東北本線　各停　→　紫波中央駅
午前10時00分　紫波中央駅着
午前10時05分　オガール紫波　現地視察
午前11時56分　紫波中央駅→JR東北本線→盛岡駅
午後12時15分　盛岡駅→　新幹線（35分）→八戸駅
午後13時00分　八戸駅着
午後13時10分　八戸駅～徒歩～

① VISIT はちのへ（観光 DMO組織）視察研修
② FLAT はちのへ（日本初の転換型アリーナ）　視察研修
八戸駅　→バス→　HACHI まで
③ 八戸ポータルミュージアム HATCH　視察研修
④ ④八戸まちにわ（コミュニティ広場）現地視察
⑤八戸ブックセンター（日本唯一の市直営の本屋）視察研修
※③～⑤の移動は全て徒歩

午後 18 時 00 分　八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会主催
カジュアル交流会「青森シードルフェス」
宿泊　ダイワロイヤルネットホテル八戸（八戸市）

7 月 12 日

午前 8 時 00 分　陸奥港駅前朝食市　視察（朝食込）
午前 10 時 00 分　安藤昌益資料館　現地視察
午前 12 時 00 分　昼食
午後 13 時 00 分　八戸市内→空港連絡バス→三沢空港
午後 15 時 35 分　三沢空港　→　羽田空港
午後 17 時 00 分　羽田空港着
午後 18 時 30 分　羽田空港発　→　出雲空港
午後 19 時 50 分　出雲空港着

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　　途	調査旅費　7/10～12航空機、宿泊料

【貼付欄】

イーコンテクスト(インターネット受付) 領収書（お客様控え）

発行日　2019年05月19日 時間 10時48分
店名　035508 松江矢田店
申込No.　[redacted]
受付番号
お客様氏名　のつ　なおつぐ　様
[redacted]

お申込商品代金　76,100円

合計金額　76,100円

収納印 [redacted] 200円

発行者
お問い合わせ先　:楽天株式会社
電話番号　:050-3155-3395
お問い合わせ受付時間　:09:00～18:00

メールアドレス　:jalrakupack@faq.rakuten.co.jp
ホームページ　:http://travel.rakuten.co.jp/

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

Rakuten Travel

ご予約内容確認(決済手続き／キャンセル／座席指定／旅程表印刷)

予約のキャンセル　座席変更/解除

旅行参加者に予約内容をメールで送信

ご予約内容

予約番号　[redacted]

確認番号　6月26日19:00頃ご案内予定となっております。

JALタッチ＆ゴーサービスについて

旅行参加者情報

旅行参加者1：代表者

氏名	のつ なおつぐ	JALマイレージバンク お得意様番号	
性別	男性	年齢	[redacted]
住所	郵便番号：[redacted] 都道府県：島根県 住所：[redacted]		
電話番号	[redacted]		
緊急連絡先	[redacted]		

JALマイレージバンクお得意様番号は下のボタンから登録・変更することができます。

JALマイレージバンクお得意様番号登録/変更

旅程表

旅行日程	3日間 旅行開始日：2019年7月10日（水） ～ 旅行終了日：2019年7月12日（金）	
2019年7月10日（水）	出雲 空港発 09:50 発 ⇒ 東京（羽田） 空港着 11:15 着 ＊＊＊（空港⇔宿泊施設間の移動については本商品に含まれておりません。お客様ご自身の負担にてご手配いただくようお願いいたします。）＊＊＊ ※空港からホテルまでのアクセス所要時間は、お客様ご自身でご確認ください 盛岡シティホテル泊	・夕食 大人× ・朝食（その他） 大人○ ・昼食 大人×
2019年7月11日（木）	ダイワロイネットホテル八戸泊	・夕食 大人×
2019年7月12日（金）		・朝食

＊＊＊（空港⇔宿泊施設間の移動については本商品に含まれておりません。お客様ご自身の負担にてご手配いただくようお願いいたします。）＊＊＊ 大人×
・昼食
※ホテルから空港までのアクセス所要時間は、お客様ご自身でご確認ください 大人×
三沢 空港発 15:35 発 ⇒ 東京（羽田） 空港着 17:00 着
東京（羽田） 空港発 18:30 発 ⇒ 出雲 空港着 19:50 着

幼児（布団のみ）、幼児（食事・布団不要）、幼児（0～2歳）には、食事は付きません

航空便

航空便情報

行き

JAL 278便 1人（大人:1人） 普通席

2019年7月10日（水） 出雲空港発 09:50発 ⇒ 東京（羽田）空港着 11:15着

帰り

JAL 156便 運航 J-AIR 1人（大人:1人） 普通席
JALグループ運航会社、またはコードシェア便となります。詳細はこちら。

2019年7月12日（金） 三沢空港発 15:35発 ⇒ 東京（羽田）空港着 17:00着

JAL 287便 1人（大人:1人） 普通席

2019年7月12日（金） 東京（羽田）空港発 18:30発 ⇒ 出雲空港着 19:50着

■上記「JAL」はJALグループ内運航会社・乗務員での運航となります（コードシェア便を除く）。詳細は最新のJALグループ国内線時刻表でご確認ください。

■静岡/松本/名古屋（小牧）発着便、福岡ー新潟直行便はフジドリームエアラインズ（FDA）および天草発着便、大阪（伊丹）ー熊本の一部便は天草エアライン（AMX）とJALとのコードシェア便（共同運航便）となります。※コードシェア便について

■日本トランスオーシャン航空（JTA）の沖縄諸島発の便は、一部経由となる便がございます。 詳しくはこちらをご参照ください。

■座席指定の詳細については、こちらをご確認ください。

座席情報

	便名		
旅行参加者氏名	JAL 278便 2019-07-10（水）	JAL 156便2019-07-12（金） 運航 J-AIR	JAL 287便 2019-07-12（金）
のつ なおつぐ	36A	18A	23A

事前座席指定サービスがご利用いただけます。
ご利用便の使用機材や混雑状況により、座席指定が事前にできない場合もございます。
詳細につきましてはヘルプページをご確認ください。

座席変更/解除

空港での搭乗手続きについて　航空便の案内について

宿泊

2019年7月10日（水）

宿泊施設名　盛岡シティホテル

住所　〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通8-14
JR盛岡駅南口より徒歩2分 地下道出口A1番が最寄です。TEL 019-651-3030

電話番号　019-651-3030

宿泊プラン

【早SP28★軽朝食付】盛岡駅徒歩約2分×コンビニ徒歩1分★香ばしいパンの匂いでお目覚め朝タイム♪

部屋タイプ	洋室・シングル・バス・トイレ付 シングル★禁煙★（8平米/ベット幅100・Wi-Fi無料） (8平米・ベット幅100センチ×200センチ1台。明るい空間、プライベートなひとときに安らぎを。)
チェックイン	2019年7月10日（水） 17:00
チェックアウト	2019年7月11日（木） 11:00
申込人数	1人（大人:1人）
申込部屋数	1部屋　1部屋目　のつ なおつぐ 男性:1名 女性:0名 合計:1名
お食事	朝食:1回 昼食:0回 夕食:0回

2019年7月11日（木）

宿泊施設名	ダイワロイネットホテル八戸
住所	〒031-0086 青森県八戸市八日町1-1 JR八戸駅より車で20分/JR本八戸駅より徒歩10分/三沢空港リムジンバス停留所目の前
電話番号	0178-73-2555
宿泊プラン	【室数限定！】21日前までの予約でお得に泊まろう！
部屋タイプ	洋室・シングル・バス・トイレ付 □禁煙□スタンダードシングル◇18平米/ワイドダブルベッド♪ (■ワイドダブルベッド採用（幅154cm）■40型液晶TV■無線＆有線LAN接続無料■加湿空気洗浄機■洗浄機付トイレ)
チェックイン	2019年7月11日（木） 17:00
チェックアウト	2019年7月12日（金） 11:00
申込人数	1人（大人:1人）
申込部屋数	1部屋　1部屋目　のつ なおつぐ 男性:1名 女性:0名 合計:1名
お食事	朝食:0回 昼食:0回 夕食:0回

宿泊について

旅行代金	
旅行代金詳細 料金はサービス料・消費税込	大人: 76,100円 × 1人
旅行代金合計	76,100円

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	調査旅費　7/10 JR券

【貼付欄】

駅-No　440101　領収書-No　48　窓口-No　368

領　収　書

野津直嗣　様

金額　￥8，200円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2019年 7月10日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

東京駅

現金出納社員 [redacted]

駅-No　440101　領収書-No　48　窓口-No　368

領　収　書

野津直嗣　様

金額　￥8，200円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2019年 7月10日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

東京駅

現金出納社員 [redacted]

10:12東京駅発　11:47郡山駅着　やまびこ207号

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

東京・新宿線特急券　××××××××
乗車券　7月12日まで有効

指定席　2号車　8D　2020

7月10日　10:12発　(11:47着)　8号車12番D席

(都区内)　(北)

¥8,200　¥207円　内訳：¥4,000・特4,200

券面の都区市内各駅下車前途無効

2019.7.10東京駅MR918(3-タ)　50173-01

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	調査旅費　7/11 JR券

【貼付欄】

領　収　証

2019年 7月11日

野津直嗣 様

金4，020円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
盛岡８２１ No.000005 [redacted]

領　収　証

2019年 7月11日

野津直嗣 様

金4，020円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
盛岡８２１ No.000005 [redacted]

12:37盛岡駅発　13:05八戸駅着　はやぶさ15号

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	調査旅費　7/12 空港連絡バス代

【貼付欄】

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1千円
1,000万円以下	2千円

№ 039757

領収証

平成 2019 年 7 月 12 日

野津直嗣 様

金額	百	千	円
		¥1	4 0 0

但し 三沢空港バス代

として

現　金	✓
小切手	
振込入金	
クレジット	
相　殺	

上記の通り領収致しました。

扱者印

三八五観光株式会社

本　　社 〒031-0086 青森県八戸市八日町2 総　務　部 ☎(0178)45—5429
保　険　部 ☎(0178)44—8185
営業部(団　体) ☎(0178)44—8181
営業部(カウンター) ☎(0178)43—8311
三沢空港営業所 〒033-0022 三沢市大字三沢字下タ沢83の198 ☎(0176)53—7111
十和田支店 〒034-0031 十和田市東三番町3の18 ☎(0176)23—8282
むつ支店 〒035-0071 むつ市小川町二丁目3の32 ☎(0175)22—1188
~~盛岡支店 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通り10の11 ☎(019)654—1533~~
~~盛岡支店 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道76 ☎(019)656-1385~~

※社印扱者印の無いもの、金額の訂正、並びに、複写で無いものは無効。

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	調査旅費　八戸ポータルミュージアム　視察資料代

【貼付欄】

2019年07月11日　**領　収　書**　一連No000009 領収No000998

野津 なおつぐ 様

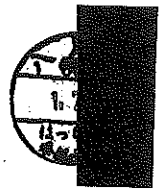
￥1，000－

（但し 視察資料代 として
正に領収致しました）

八戸市
八戸ポータルミュージアム
hacchi

TEL：0178-22-8200
FAX：0178-22-8303

印刷面を内側に折って保管願います



2019年07月11日　**領　収　書**　一連No000009 領収No000998

野津 なおつぐ 様

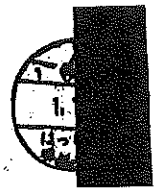
￥1，000－

（但し 視察資料代 として
正に領収致しました）

八戸市
八戸ポータルミュージアム
hacchi

TEL：0178-22-8200
FAX：0178-22-8303

印刷面を内側に折って保管願います



（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　野津　直嗣　】

研究研修、調査　報告書

議員名　　野津直嗣

1、期　　間　　令和元年７月１０日（水）～令和元年７月１２日（金）

2、会　場　等　　①福島県須賀川市市民交流センター（令和元年７月１０日（水））
②岩手県紫波町オガール紫波（令和元年７月10日（水））
③岩手県紫波町オガール紫波（令和元年７月１１日（木））
④青森県八戸市FLAT八戸（令和元年７月11日（木）
⑤青森県八戸市VIST八戸（令和元年７月11日（木）
⑥青森県八戸市HACHI（令和元年７月11日（木）
⑦青森県八戸市八戸まちにわ（令和元年７月11日（木）
⑧青森県八戸市市立BOOKSTORE（令和元年７月11日（木）
⑨青森県八戸市シードルフェス（令和元年７月11日（木））
⑩青森県八戸市朝市（令和元年７月12日（金））
⑪青森県八戸市安藤昌益資料館（令和元年７月12日（金））

3、調査項目等　　①公共複合型施設について（令和元年７月１０日（水））
②地域おこし協力隊意見交換について（令和元年７月10日（水））
③官民一体型複合型施設について（令和元年７月１１日（木））
④民間資本と連携したスポーツ施設について(令和元年７月１１日(木))
⑤観光DMO組織について（令和元年７月１１日（木））
⑥公共複合型施設について（令和元年７月11日（木））
⑦まちなか公共空間活用について（令和元年７月11日（木））
⑧市立直営ブックストアについて（令和元年７月11日（木）
⑨誘致企業と中心市街地活性化について（令和元年７月11日（木））
⑩朝市活用による水辺空間賑わい創出（令和元年７月12日（金）
⑪循環型社会の構築について（令和元年７月12日（金））

4、講師（対応者）　①佐久間氏（センター長）、板橋氏（総務課長）岡田氏（総務係長）
②三ケ森氏（紫波町企画総務部）他、協力隊４名
③三ケ森氏（紫波町企画総務部）、手塚氏（紫波町図書館司書）他
④豊川氏（八戸市都市整備部所長）他
⑤酒井氏（企画プロモーション課長）他

⑥高館氏（八戸ポータルミュージアム副館長）
⑦山下氏（広場ニスト）
⑧音喜多氏（八戸ブックセンター長）
⑨交流会の為、講師は無
⑩柳沢氏（株式会社まちづくり八戸）
⑪現地視察のため、講師は無

5、調査内容・所感等

【総合的に考察とまとめ】

今回の調査の主な目的は、改修を迎える松江市の大型公共施設（松江テルサ・プラバホール・スティック・フォーゲルパーク）や島根県立プール跡地の活用の在り方、またこちらも改修予定の総合運動公園などのスポーツ施設の適正配置や民間活力との連携の為の視察である。あわせて観光 DMO、持続可能型社会（ＳＤＧs）などについても有効な視察ができた。

今回、感じた最も大きな部分は、建物の施設改修も松江市の地域課題であるが、改修のみのミクロの目線で見るのではなく、もっと大きな視点で、松江市の 30 年後をカタチづくるという大きな視点でまちづくりに挑戦するべきである。

所感①について

【公共複合型施設について】

松江市は、プラバホール、スティック、テルサ、カラコロ工房など 建設から 30 年近く経ったものの改修や活用を考えなければならない。あわせて、単純に改修するだけでなく、そこには巨額の税金が投入をされる事になるわけで、市債を多くしないためにも、国等の有効な財源を探すという努力と知恵と構想を生まなければならない。須賀川市市民交流センターについては、「市立図書館」「子育て支援センター」「起業創業支援」「市民活動センター」「ミュージアム」「子育て屋内パーク」「市民ホール等」「コンビニ」が一体型となり整備されていた。

建設財源については、約 70 億円そのうち国の復興支援 35 億円、合併特例債 35 億円、地方創生推進交付金（館内ソフト事業）、実施上 1 割負担（7 億円程度）で建設されていた。

ランニングコストは 2 億円を見込んでいたが、あらゆる事の経費削減が出来そうであるとの事。またこの統合施設により、旧施設の来客数は数倍以上増え、特に屋内の子どもの遊び場は入場に整理券が必要なほどである。

近年こういった複合型施設は建設されているが、須賀川市の凄い所は徹底して、他自治体を見に行った。そして徹底的に議論を行った。その事がこの施設を生みだした最大の要因であるとセンター長は話をされた。その事が分かるように、何と市立図書館の配置が他市と圧倒的に違うところで、図書を図書館の中に押し込めるのではなく、館内のあらゆる場所に図書を配置していたところである。

所感②について

【地域おこし協力隊意見交換について】

松江市も地域おこし協力隊制度を採用し、その政策形成過程においては自分自身も非常に関心を持ち、提案を行ってきたものである。本市の地域おこし協力隊は「フリーミッション型」になっており、紫波町は「ミッション型」になっている。松江市もフリーミッション型が先進性を生み、モデル事例として全国から視察もあったが、ミッション型を検討しても良いのではないかと考え、ミッション型を行っている紫波町の地域おこし協力隊より、①現行の業務、②隊員の活動状況、など意見交換を行った。

所感③について

【官民一体型複合型施設について】

地方創生の活用施設といえばオガール紫波ではあるが、民間が建物を建設し、そこに市が賃貸料を払って入るという方法で建設コストを無くし、将来的にかかる建物の維持管理経費を軽減していた。また何よりも、行政的なまちづくりのエリアができているのではなく、民間活力の中に行政が入る事により、賑わいと利便性の向上、まちの魅力化に繋がっていた所である。まちが発展できれば良いのであって、そこに民が先か、公が先かの議論はナンセンスである事を非常に強く感じた所である。また気になる点がいくつかあった。それは市から民間に支払う賃貸料の中に社会資本整備交付金が投入されていた事である。どの部分が社会資本整備交付金部分に当たるのか、研究したい。

松江市としては県立プール跡地が最適地だと考えており、公共施設の建物と民間活力一体となったマチナカ賑わい創出ができるものと考えているので、今後さらに研究を深めたい。

所感③について

【民間資本と連携したスポーツ施設について】

八戸市では民間の建築主（ゼビオ）がスポーツアリーナを建設し、八戸市が年間時間分を借り受けるという契約で、一定額を支払う（2億円）という条件で、スポーツアリーナの建設が進んでいた。八戸市は、その時間部分を市民から利用料を徴収し財源に充てる。

また本事業は、八戸新幹線駅の再開発事業の一環として行われており、都市計画事業 240 億円の事業費の一環で行うものである。

松江市としても、総合運動公園の改修は迫っており、野球場かサッカー場の創設は急務であり、こういった手法も考慮しながら建設に進むべきであると考える。

所感④について

【観光DMO組織について】

八戸市の観光 DMOは立上げ一年であるが、松江市の何倍もの速さで進んでいた。まさしく人の存在の大きさをまざまざと見せつけられた。八戸の観光 DMOはその使命を、送客と稼ぐとい

う事に徹底しており、松江市と目指すべきところはまったく一致している。こういった組織体制や、職場の空気感の醸成の仕方も素晴らしかった。詳細は割愛するが、松江市もこういったプレイングマネージャーの育成が急務であることは間違いない。

所感⑤について

【公共複合型施設について】

八戸市のポータルガイドセンターの HACCHI は、「市立図書館」「子育て支援センター」「起業創業支援」「市民活動センター」「市民ホール等」「お土産」「アーティストレジデンス」等が入った、この施設に入ると八戸市が全てわかるという施設になっている。須賀川市と近い構造で、10 年近く経っており、須賀川市もこの八戸市の施設を大変に参考したと話していた。それだけあり、構造やセクションは似ている感じであった。特に気になる点においては、アーティストインレジデンスである。松江市にも必ず需要があると考える。今後、施設を考える部分においては要検討をしたい。

所感⑥について

【まちなか公共空間活用について】

この部分は松江駅のテルサの活用が対比して考えられる。オープンなフィールで広場空間をプロデュースしている山下裕子さんのお話を聞きながら「まちにわ」の説明を受けた。WIFI が完備されており、学生たちの拠点となっていた。また夜には後述するシードルフェスが開催され、まさしく人が中心市街地へ集まっている場面を視認できる事が分かった。こういった空間の活用について、松江駅前ではテルサが事業該当するものと考え、テルサ１階部分も含めた利活用も含めて検討したい。

所感⑦について

【市立直営ブックストアについて】

市が直営で行うブックストアであり、非常に珍しい。その意図を聞いたところ、近年の本屋の営業は苦しい。それゆえに売れる商品ばかりを取り扱わざるを得なくなっている。市長が、本によって人生が変わったと感じる部分が大きく、大切な本は貸し出しでなく、自らが持っていて欲しいという想いが強いため、市内の本屋では売れ筋ではないが、八戸市として読んで欲しいものをセレクトして置いてあるという事であった。また赤ちゃんからのブックスタート、小学校６年生以下には 2000 円の図書購入券などを支給しており、政策の一貫性が感じられた。松江市でもブックスタートを再検証が必要と考える。

所感⑧について

【誘致企業と中心市街地活性化について】

以前、議会でも提言した誘致企業を政策的に中心市街地への誘致へ行い、中心市街地への活性

化や昼間人口の増加に繋がるべきだと提言した。八戸市はまさしくその取組みをしており、多くの首都圏から誘致した主にＩＴ企業を中心市街地へ誘致していた。それだけでなく、月に一回シードルフェスという、青森のりんごを活かした発泡酒を展開するなど産業振興や地域振興と結びつけたまちなか交流会を企画していた。昼間人口を夜の賑わい創出につなげた面白い事例である。また昼間の仕事ではつながりが生まれにくい環境の中で、ゆるやかなシードルフェスだからこそできるビジネスマッチングや交流の機会が増えており、新たな人脈構築を生み、それを中心市街地の魅力と施策誘導している様に見えた。これは松江市でも取り組むべきであると考える。

所感⑨について

【朝市活用による水辺空間賑わい創出について】

八戸市では日曜日に行われる朝市が有名であり、松江市も鹿島町などでは展開可能ではないかと考える。八戸市は漁業の町であるがゆえに魚問屋も多く、そういった立地も活かしながら市を開いているというイメージであった。松江市にはそういった文化はないが、美保関町や島根町、鹿島町など様々な港町は存在しており、人口急減が著しい地域であるが、今後そういった対策としても漁業の町復活に向けて数年のモデル事業へ挑戦する事が大事であると考える。恵曇漁港の活用策の一つ、また地元民間有志が頑張る、カニ小屋などと連携する仕組みづくりとして検討したい。

所感⑩について

【循環型社会の構築について】

八戸市が生んだ世界最初のエコロジストと言われる安藤昌益は、江戸時代中期という封建時代まっただなかにあって、身分制度を否定し、富める者も貧しい者もいない平等な社会を説きました。町医者をしながら、他に類を見ない独創的な思想を生み出し、その考え方は「直耕（ちょっこう）」「互性（ごせい）」など、自然と人間とが調和する社会を目指した昌益の思想は、現代のＳＤＧＳと類似性が高く、松江市も率先して行わなければいけないテーマです。ＳＤＧＳは自分自身としても取り組みたいテーマであり、施策提言を行った中心市街地の賑わい活性化事業のイベントなどでも率先して取りいれる様に提言していきたいと感じます。